

温故知新

くろと学だより

圖文化課文化係 ☎(23)0156

東京の宇土ゆかりの地(1)

今月の「うと学だより」は、東京にある宇土ゆかりの場所を紹介します。

1 三齋小路(港区虎ノ門二丁目)

オフィスビルや商業ビルが密集する虎ノ門から新橋エリアは、江戸時代には大名屋敷が軒を連ねていました。

初代宇土藩主・細川行孝の祖父・忠興(三齋)はこの地に屋敷を構えていました。三齋死後、孫の行孝が屋敷を譲り受け、元禄16年(1703)まで宇土藩の上屋敷(大名の妻子や江戸滞在中の大名が暮らす屋敷)として使用されました。

屋敷前の通りは、三齋にちなんで「三齋小路」、裏手通りは屋敷の竹藪にちなんで「藪小路」と呼ばれました。

【最寄駅】東京メトロ 虎ノ門ヒルズ駅



現在の三齋小路
(Googleストリートビューより)

2 清光院(品川区南品川)

江戸における宇土藩の菩提寺として慶安3年(1650)に創建されました。江戸で亡くなった宇土藩主は、この清光院に葬られた後、宇土に分骨されました。かつては藩主のほか、藩主の側室や子どもたち、家臣たちの墓も多くありましたが、平成に入り墓地が整理され、残念ながら宇土藩に関する墓は現在残されていません。

清光院の北側を流れる目黒川の対岸には、江戸における熊本藩の菩提寺・東海寺があります。

【最寄駅】京急本線 新馬場駅



清光院入口

3 国立国会図書館(千代田区永田町)

皇居(旧江戸城)の南西、国会議事堂の北側に位置する国内唯一の国立の図書館。満18歳以上であれば、誰でも利用することができます。

江戸時代、江戸城の周囲には大名屋敷が立ちならび、宇土藩の上屋敷は現在の国会図書館がある場所にありました。敷地は3,234坪(約1万㎡)あり、野球場1面分ほどの広大な敷地でした。

江戸には上屋敷のほか、隠居した大名や成人した世継ぎが住む中屋敷(現在の港区西新橋2丁目付近)、江戸の郊外にあって別荘的に利用された下屋敷(現在の港区白金台2丁目付近)がありました。

【最寄駅】東京メトロ 永田町駅



国立国会図書館
(国立国会図書館 HP から転載)

4 浜町公園(中央区日本橋浜町)

隅田川右岸に位置する中央区で最も広い浜町公園の場所には、江戸時代、熊本藩の下屋敷がありました。宇土生まれの細川立礼は、明和9年(1772)に宇土藩主に就任後、熊本藩主に転じ、名を斉茲に改名しました。

隠居後はこの地にあった屋敷に住み、地名をとって「浜町様」と呼ばれました。幕末には屋敷内に加藤清正を祀る清正公寺が建てられ、現在も公園内に建物が残されています。

【最寄駅】都営地下鉄新宿線 浜町駅



都民憩いの場 浜町公園



清正公寺